

# 10th Anniversary



▲足寄中学での講演



▲内田和彦先生

96年6月7日、ファミリー・フォーカス・ジャパンを支える会の発会式が行なわれました。80人近い方が集い、顧問を引き受けて下さった聖書宣教会の内田和彦先生が「異教社会に築くクリスチヤンホーム」と題してメッセージをされました。

同年2月には、ニュース・レター第一号が発行されました。最初は不定期でしたが、次第に年4回のペースになり、第7号から現在のような季刊マガジン形式になりました。今回40号を迎えたのは、当初から熱い購読者が多数おられたお陰です。神さまの恵みによつて変えられた家族の正直な証しは、私たちの励ましと慰めになっています。

FFJの最初の大きなプロジェクトは、ドブソン博士の子育てシリーズ「幸福な家庭セミナー」をビデオ化することでした。このシリーズは16ミリフィルムとして、全国の教会で大いに用いられましたが、これをビデオ版として復刻しました。アメリカからマスター

テープを取り寄せて、翻訳を一部し直し、当時のドブソン博士役を演じていた声優(青野武氏)を探し出しました。そしていのちのことば社との共同制作という形で、失われていた名セミナー集をよみがえらせました。

また97年には、理事会が組織されました。最初の理事は、岡本昭世(中山キリ

2000年の4月から、SBC信越放送でラジオ番組「ドクター・ドブソンのファミリー・コラム」をスタートしました。これは世界百五十ヶ国以上で放送されているものです。たつた2分半ですが、家族・家庭問題に対する貴重なアドバイスを与えてくれる番組として大好評を得ました。放送局からも高い評価をいたしました。ラジオ沖縄、北海道では、全道の全てのラジオ番組の中で聴取率第一位(ビデオリサーチ調べ)になりました。番組は「家族のために」という本にもなり、ファミリー・フォーラムの書籍の中ではベストセラーとなっています。同番組はインターネットでもお



▲講演会でのコーラン代表と参加者

聞き頂けます。

02年から、アブステナンス(結婚まで性関係を控えること)を中心とする性教育活動を始めました。今や公立学校では、もっぱら「安全なセックス」「避妊教育」が進められていますが、我々はアブステナンスこそ聖書の教える正しい性教育であると考え、地道ながらセミナー活動をしています。最近は、教会ばかりが多くの公立学校からも講演依頼を頂くようになりました。

これまでに出版した書籍は、ドブソン博士の「苦難の時にも」を初めとして、新発売の「内藤先生の家庭」に至る、6シリーズ(計40

本)、単発ものを含め計44本を数えています。DVD化もこれから課題です。



\*本誌のバックナンバーには、数々の心温まる証しや家庭問題についての貴重な情報が含まれています。1冊¥200です。  
P19の注文用紙をご利用下さい。

スト教会牧師(當時)、アルマ・タイガート(TEAM宣教師(當時))、増田みどり(長良キリスト教会牧師夫人)、ティム・セランダー(Team宣教師)、及びテモテ・コールでした。増田先生以下3名は、現在も理生として奉仕中です。



▲Dr.ドブソン役の青野 武氏